



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東  
 コード番号 9731 URL <https://www.hakuyosha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 五十嵐 瑛一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 橋本 裕之 (TEL) 03(5732)5111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	32,434	2.0	1,844	7.1	2,013	4.4	1,609	26.4
2023年12月期第3四半期	31,786	11.5	1,721	237.5	1,928	75.2	1,273	△16.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,607百万円(10.2%) 2023年12月期第3四半期 1,458百万円(△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	424.79	—
2023年12月期第3四半期	337.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	32,660	9,846	29.9
2023年12月期	33,154	8,370	25.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 9,764百万円 2023年12月期 8,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2024年12月期	—	25.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	△0.9	1,900	4.6	2,150	0.0	1,600	△17.7	423.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	3,900,000株	2023年12月期	3,900,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	98,761株	2023年12月期	120,447株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	3,789,447株	2023年12月期3Q	3,778,249株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～9月30日)におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善やインバウンド需要の拡大の動きが見られた一方、不安定な国際情勢やエネルギー価格・物価上昇等を背景とする景気の下振れリスクも見られる等、先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループにおいては、2024年より新たな中期経営計画(2026年までの3ヶ年)をスタートさせており、「構造改革の完遂」「オペレーションの磨き上げ」「マーケティングによる収益力向上」「事業ポートフォリオの最適化」を基本方針に掲げ、事業を通じた社会課題の解決と、持続的な成長軌道の確立を目指しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、ホテル等の法人得意先の堅調な稼働等を背景に、売上高は324億3千4百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業利益は18億4千4百万円(前年同四半期比7.1%増)、経常利益は20億1千3百万円(前年同四半期比4.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式売却益計上等により、16億9百万円(前年同四半期比26.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間期首において、当社の連結子会社であるHakuyosha International, Inc. が、同じく当社の連結子会社であったDust-Tex Honolulu, Inc. を吸収合併したことにより、管理区分の見直しを行っております。これに伴い従来「クリーニング」として区分しておりましたHakuyosha International, Inc. の財務情報は「レンタル」に含めております。前第3四半期連結累計期間の業績についても、同様の組み替えを行った上で当期業績との比較を行っております。

#### <クリーニング>

クリーニング事業は、一般のお客さまより、衣類のほか、ふとん、じゅうたん、カーテン等のご家庭用アイテム等をお預かりし、クリーニングを行う個人向け事業です。直営およびフランチャイズの店舗に加え、クリーニングに関する知識を持った自社スタッフであるCLP(クリーン・リビング・パートナー)がお客さまのご自宅までお伺いする集配サービスや、宅配便を用いてお預かりとご返送を行う「らくらく宅配便」等の複数の営業窓口を展開し、全国のお客さまからのライフスタイルに合わせたご利用にお応えしております。

当事業においては、服装のカジュアル化や在宅勤務の普及等を背景に、中長期的に需要が低下する傾向にあります。こうした状況を受け、当社グループでは、不採算店舗の閉鎖等の構造改革の完遂に向けて取り組むとともに、商圈毎の特性に合わせた出退店や業務プロセスの見直しを通じて、収益性の向上を図っております。

クリーニング事業の売上高は、春季における天候不順の影響による防寒衣料等の集品の減少等により、124億2千4百万円(前年同四半期比3.2%減)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は、不採算店舗の閉鎖計画の進捗により、賃借料や人件費等、直営店舗の運営に関わる経費を圧縮したこと等から、14億3千6百万円(前年同四半期比0.0%増)となりました。

#### <レンタル>

レンタル事業は、当社グループの保有するリネン品やユニフォームをお客さまにクリーニング付きでレンタルする法人向け事業です。主にホテル・レストラン等のリネン品を取り扱うリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル部門の2つの部門があり、レンタル品のクリーニング、在庫管理、集荷・配送等を総合的に手掛けております。

当事業は、政府の観光立国化政策を背景とするインバウンド需要の拡大や、HACCP(食品衛生管理の世界標準)の義務化等を背景とする安全衛生意識の高まり等から、市場の活性化が進む傾向にあります。こうした状況を受け、需要の取り込みに向けた営業体制・生産体制の整備を推進するとともに、リネンサプライ部門においては、収益性の改善に向けた価格戦略や工場の生産性向上を、ユニフォームレンタル部門においては、事業規模の拡大に向けたマーケティング強化等の事業戦略を進めております。

レンタル事業の売上高は、ホテル等の法人得意先の稼働が引き続き堅調な動きを見せたことに加え、諸経費の高騰を受けて取引価格の改定を行ったこと等から、192億1千3百万円(前年同四半期比5.9%増)となり、セグメント利益(営業利益)は、外注費や集配車両費の上昇はあったものの、16億2千2百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

〈不動産〉

不動産事業では、不動産の賃貸および管理を行っております。

不動産事業の売上高は3億6千5百万円(前年同四半期比0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2億6千6百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

〈物品販売〉

物品販売事業では、クリーニング業務用の機械・資材や、ユニフォーム等の販売を行っております。

物品販売事業の売上高は4億3千1百万円(前年同四半期比5.0%減)、セグメント利益(営業利益)は4千5百万円(前年同四半期比33.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千3百万円減少し、326億6千万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少1億8千9百万円等により1億4千1百万円減少し、115億4百万円となりました。

固定資産は、差入保証金の減少7千4百万円、繰延税金資産の減少3億5百万円等により3億5千2百万円減少し、211億5千5百万円となりました。

また、流動負債は、支払手形及び買掛金の減少5億4千6百万円、短期借入金の減少13億6千3百万円等により21億5千9百万円減少し、100億2千5百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加3億4千4百万円、退職給付に係る負債の減少7千7百万円等により1億9千万円増加し、127億8千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加14億1千4百万円等により14億7千5百万円増加し、98億4千6百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の25.1%から29.9%へ増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表いたしました2024年12月期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,429	1,306
受取手形及び売掛金	4,259	4,069
棚卸資産	5,194	5,569
その他	808	604
貸倒引当金	△46	△45
流動資産合計	11,646	11,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,838	20,978
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,516	△15,644
建物及び構築物（純額）	5,321	5,334
機械装置及び運搬具	10,302	10,296
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,460	△8,477
機械装置及び運搬具（純額）	1,841	1,819
土地	6,207	6,207
リース資産	3,955	4,156
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,068	△3,149
リース資産（純額）	887	1,007
その他	1,413	1,403
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,297	△1,256
その他（純額）	116	146
有形固定資産合計	14,374	14,514
無形固定資産	408	365
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710	2,678
差入保証金	894	819
繰延税金資産	2,128	1,822
退職給付に係る資産	964	967
その他	131	86
貸倒引当金	△103	△100
投資その他の資産合計	6,725	6,275
固定資産合計	21,508	21,155
資産合計	33,154	32,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,992	2,446
短期借入金	3,347	1,984
1年内返済予定の長期借入金	3,017	2,705
未払法人税等	20	262
賞与引当金	186	386
その他の引当金	26	36
その他	2,593	2,202
流動負債合計	12,185	10,025
固定負債		
長期借入金	5,602	5,947
役員退職慰労引当金	25	32
役員株式給付引当金	127	85
環境対策引当金	73	63
退職給付に係る負債	3,939	3,861
資産除去債務	491	454
その他	2,337	2,344
固定負債合計	12,598	12,788
負債合計	24,783	22,813
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,567	1,567
利益剰余金	3,416	4,831
自己株式	△358	△303
株主資本合計	7,036	8,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750	791
為替換算調整勘定	69	57
退職給付に係る調整累計額	460	409
その他の包括利益累計額合計	1,280	1,259
非支配株主持分	54	81
純資産合計	8,370	9,846
負債純資産合計	33,154	32,660

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	31,786	32,434
売上原価	26,595	27,330
売上総利益	5,191	5,103
販売費及び一般管理費	3,469	3,259
営業利益	1,721	1,844
営業外収益		
受取配当金	25	37
受取補償金	62	71
為替差益	11	30
持分法による投資利益	64	59
雇用調整助成金	11	-
その他	183	142
営業外収益合計	359	342
営業外費用		
支払利息	135	151
シンジケートローン手数料	0	0
その他	17	21
営業外費用合計	152	173
経常利益	1,928	2,013
特別利益		
投資有価証券売却益	-	230
特別利益合計	-	230
特別損失		
固定資産処分損	39	9
減損損失	88	-
特別損失合計	128	9
税金等調整前四半期純利益	1,800	2,233
法人税、住民税及び事業税	517	360
法人税等調整額	△6	234
法人税等合計	510	595
四半期純利益	1,289	1,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,273	1,609

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,289	1,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	41
為替換算調整勘定	△2	△47
退職給付に係る調整額	△34	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	26
その他の包括利益合計	169	△30
四半期包括利益	1,458	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,442	1,588
非支配株主に係る四半期包括利益	16	19

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売(百 万円)			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,830	18,138	—	454	31,423	—	31,423
その他の収益	—	—	362	—	362	—	362
外部顧客への売上高	12,830	18,138	362	454	31,786	—	31,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	11	62	1,022	1,505	△1,505	—
計	13,240	18,150	424	1,476	33,291	△1,505	31,786
セグメント利益	1,443	1,458	262	69	3,225	△1,504	1,721

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,504百万円には、セグメント間消去41百万円、各セグメントに配賦していない  
 全社費用△1,546百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であり  
 ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売(百 万円)			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,424	19,213	—	431	32,069	—	32,069
その他の収益	—	—	365	—	365	—	365
外部顧客への売上高	12,424	19,213	365	431	32,434	—	32,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	525	11	52	1,022	1,612	△1,612	—
計	12,949	19,225	417	1,454	34,047	△1,612	32,434
セグメント利益	1,436	1,622	266	45	3,370	△1,525	1,844

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,525百万円には、セグメント間消去41百万円、各セグメントに配賦していない  
 全社費用△1,567百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であり  
 ます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間期首において、当社の連結子会社であるHakuyosha International, Inc. が、同じく  
 当社の連結子会社であったDust-Tex Honolulu, Inc. を吸収合併したことにより、管理区分の見直しを行って  
 おります。これに伴い従来「クリーニング」として区分しておりましたHakuyosha International, Inc. の財務情  
 報は「レンタル」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載して  
 おります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年9月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日
減価償却費	893百万円	898百万円